

## 平成 20 年度 番組審議会

- (1) 番組審議会議事録
- (2) 放送番組の編集の基準

### (1) 番組審議会議事録

1. 日 時	平成 21 年 3 月 31 日 (火) 午前 11 時～午後 12 時 40 分
2. 場 所	株式会社日本ケーブルテレビジョン (渋谷区神宮前 1-3-10 コロンブスビル 7F) 会議室
3. 出 席	審議委員 小池生夫 (委員長) 石川次郎 (委員) 小西克哉 (委員) 雪野智世 (委員) ----- 株式会社 河西明 (代表取締役社長) 日本ケーブル 斉藤由雄 (常務取締役・番審担当) テレビジョン 山本陽一 (放送事業局長) 鈴木隆泰 (放送事業局次長兼 CATV 営業部長) 貝谷陽之助 (商品企画部長) 祝田剛夫 (取締役・番審事務局) 細川正一郎 (書記) 松田義明 (書記)
4. 審議の概要	[1] (委員の発言) 視聴者は他の日本のマスコミでは伝わってこない“アメリカの空気感”を得られる。リアルタイムの情報と分析を一緒に伝える CNN は素晴らしい。グラフィックもすごくアメリカでも話題になっている。CNNj は日本でどれだけ話題になったか、不満が残る。情報の原点が活かしきれていない。CNNj の認知度が不足している。意見はアトランタに伝えられるのか。 (当社の見解) 日本でのクオリティ向上につながるようにアトランタと協力しあっている。 [2] (委員の発言) 視聴者の好みを今後もウォッチしてほしい。 (当社の見解) Int'l の捉え方、視聴者の判断、日本でどのように拡大していくのかなど、これからの企画・宣伝に考慮していく。

### (2) 放送番組の編集の基準

1. 当社は放送の使命を認識し、公共福祉、文化の向上、産業と経済の繁栄に役立ち、平和な社会の実現に寄与することを使命とする。  
われわれは、この自覚に基づき、民主主義の精神にしたがい基本的人権と世論を尊び、言論および表現の自由を守り、法と秩序を尊重し社会の信頼にこたえる。  
番組の種類は CNN の情報を中心として国際ニュース、ニュース解説、インタビュー、討論会、英語教育等の番組を編成する。
2. このために、当社は放送番組を次の基準によって編集する。
  - (1) 人権・人格・名誉

- a. 人命を軽視するような取扱はしない。
  - b. 個人や団体の名誉を傷つけたり、信用を損なうような放送はしない。
- (2) 宗教  
宗教に関する放送は、信仰の自由を尊重し公正に取り扱う。
- (3) 政治  
政治上の諸問題は、できるだけ多くの視点から論点を明らかにし、公正に取り扱う。
- (4) 家庭と社会
- a. 家庭生活を尊重し、これを破壊するような思想を肯定的に取り扱わない。
  - b. 暴力行為は、どのような場合にも是認しない。
- (5) 犯罪  
犯罪については、法律を尊重し、犯人を魅力的に表現したり、犯罪行為を是認するような取り扱いはしない。
- (6) 性表現  
性に関する事柄は、視聴者に困惑・嫌悪の感じを抱かせないように注意する。
- (7) 表現
- a. 下品な言葉使いはできるだけ避け、また、卑狼な言葉や動作による表現はしない。
  - b. 人心に恐怖や不安または不快の念を起こさせるような表現はしない。
- (8) 広告  
広告はわかりやすく適正な表現を用い、視聴者に錯覚をおこさせるような表現をしない。

以上